

# 平成27年度 人事委員会事務局運営の総括表

## 基本方針・重点方針

京都市が求める有為な人物を採用し、社会情勢に適応した職員の勤務条件を確保するとともに、意欲・能力に基づいた職員の任用等により組織活力の向上を図る。

## 平成27年度重点取組

取組名	目標	実績	備考(課題)	所属	
有為な人材の採用	1 人物重視による職員採用試験の改革	職員採用試験について、引き続き人物重視の観点から実施するとともに必要な改善を行う。  <ul style="list-style-type: none"> <li>➢上級Ⅰ一般事務職（行政）について、前年度に引き続き個別面接を3次まで実施</li> <li>➢上級Ⅰ一般事務職（行政）について、従来の一般方式に加えて、一次試験から受験者全員と個別面接を行う「京都方式」の導入準備</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申込開始（28年3月）</li> <li>・ 試験（28年5月～6月）</li> <li>・ 合格発表（28年7月5日）</li> </ul> </div>	民間はもとより自治体間競争が激しい中での多様な人材の確保	任用課長	
	2 有為な人物を獲得するための広報活動の充実	職員採用専用ホームページを新設するとともに、技術職の受験者を確保するため、技術職を紹介するパンフレット等の作成や職場見学会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢職員採用専用ホームページの新設 <a href="http://www.city-kyoto-saiyou.jp/">http://www.city-kyoto-saiyou.jp/</a></li> <li>➢技術職を紹介するパンフレットの作成(4,000部)</li> <li>➢関西等の主要大学等での採用試験説明会の実施、就職イベントへの出展（61箇所、2,666人）</li> <li>➢技術職の現場見学会の実施</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>開催数：10回 参加者数：延べ160名 対象技術職：土木職、建築職、電気職、機械職</p> </div>	市職員の仕事の魅力の効果的な発信と技術職職員の確保	任用課長
適切な勤務条件の確保	3 給与その他の勤務条件に関する勧告・報告の適切な実施	民間給与と職員給与の比較等に基づき、職員給与その他の勤務条件について、社会一般の情勢に適合するよう適切な勧告・報告を行う。	民間給与と職員給与の比較に基づき、国等の制度との均衡も考慮のうえ、給与制度の総合的見直しの実施を含む給与に関する勧告・報告を行った。（平成27年9月10日）	より本市にふさわしい給与制度についての検討	調査課長

平成27年度重点取組

平成27年度重点取組				
取組名	目標	実績	備考(課題)	所属
組織活力の向上 4	意欲・能力に基づいた職員の任用	<p>一般事務職</p> <p>➢従来区分(A・B試験+B試験のみ)の受験率は24.4%(男性33.8%,女性10.6%)となり,前年度の受験率24.1%(男性33.5%,女性9.9%)を上回った。</p> <p>➢25歳前倒し受験区分(A試験のみ)の受験率は59.9%(男性72.1%,女性43.8%)となり,前年度の受験率63.5%(男性71.6%,女性50.8%)を下回った。</p>	<p>➢新たに受験が可能となった者への周知と受験が当たり前となるように職員への意識付け</p> <p>➢特に年齢の若い層及び女性のより一層の受験率向上</p>	任用課長
	倫理観,規範意識の向上	公私にわたり法令を遵守し,高い倫理観,規範意識を持って公正に職務に取り組む職場風土を醸成する。	研修の実施,他都市,民間企業の取組事例や不適切な事務処理事例の紹介,周知等により,所属職員の倫理観や規範意識の高揚に努めた。	任用課長 調査課長